

科目名	建築製図 1							年度	2024
英語科目名	Architectural Drafting 1							学期	前期
学科・学年	建築設計科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	石井 尚樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】									
・ 建築の製図記号が理解できる ・ 実際に建築物を体験し、そのスケール感と立体感をイメージしながら平面図、断面図、立面図を描くことができる ・ 寸法と機能性を理解し自分で設計した空間を、平面図、断面図、立面図で表現することができる									
【科目の概要】									
建築図面の記号を理解することから始まり、平面図、断面図、立面図を描くことができるようにする。 寸法感覚を身に付けると同時に、三角スケールを使用した縮尺表現、抽象化した図面表現を理解する。 また機能性やコンセプトを建築に具現化して図面表現する、基礎的な設計力を習得する。									
【到達目標】									
A. 線の種類や太さの意味を知り、描き分けることができる B. 三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し描くことができる C. 寸法感覚を持って住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる									
【授業の注意点】									
評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により講評会において評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている	レベル 2 ふつう				レベル 1 要努力			
到達目標 A	線の種類や太さの意味を理解し、綺麗に描き分けることができる	線の種類や太さの意味を理解し、描き分けることができる				線の種類や太さの意味を理解できない			
到達目標 B	三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、正確に描くことができる	三角スケールで縮尺を測り、建築の製図記号を理解し、描くことができる				三角スケールでの縮尺や測り方、建築の製図記号を理解できない			
到達目標 C	寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を正確に描くことができる	寸法感覚を持って、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができる				寸法感覚を持っておらず、住宅の平面図・断面図・立面図を描くことができない			
【教科書】									
『建築デザイン製図』学芸出版社									
【参考資料】									
資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築製図 1			年度	2024
英語表記		Architectural Drafting 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	
1	科目概要説明	科目の目的・内容を理解する	1	科目概要	科目の目的・内容を理解している	
			2	授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している	
			3	製図道具の使い方	製図道具の使い方を理解している	
2	第一課題 線の意味	線の種類・太さの意味を理解し描く	1	線の種類	線の様々な種類と意味を理解し、正確に描く	
			2	線の太さ	線の太さの意味を理解し、正確に描き分ける	
			3	線分の等分割	三角スケールで等分割する方法を理解し、描く	
3	第二課題 図面記号	建築図面の記号の意味を理解し描く	1	出入口の記号	出入口の様々な種類と記号を理解し、正確に描く	
			2	窓の記号	窓の様々な種類と記号を理解し、正確に描く	
			3	実測と図面化	自宅のドアを実測し、図面として正確に描く	
4	第三課題 「陽の家」の製図	1 階平面図	1	「陽の家」の説明	MUJI HOUSE「陽の家」を説明動画で理解する	
			2	基準線	平面図にとっての基準線の意味を理解し描く	
			3	外・内壁と開口部	外壁・内壁と開口部を描く	
1			設備・造作と家具	設備・造作と家具を描く		
2			ウッドデッキと樹木	ウッドデッキと樹木を描く		
3			寸法	寸法線を整理して描く		
断面図		1	断面輪郭	断面輪郭を太線で描く		
		2	見えがかり	見えがかりを細線で描く		
		3	寸法	寸法線を整理して描く		
立面図		1	東側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
		2	南側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
		3	西側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
		4	北側立面図	遠近を太線・細線で表現して描く		
図面仕上げ 「陽の家」の設計	1	陰影と人型	陰影と人型を描いて立体感と活動性を表現する			
	2	図面チェックシート	図面チェックシートでブラッシュアップする			
	3	課題説明	「陽の家」の設計に関する課題設定を理解する			
10	第四課題 「陽の家」の設計	エスキス指導 1	1	1 案のエスキス指導	1 案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	
2			改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る		
11		エスキス指導 2	1	2 案のエスキス指導	2 案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	
2			改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る		
12		エスキス指導 3	1	3 案のエスキス指導	3 案目を指導教官と話し合いアドバイスを受ける	
			2	改善案	改善案を考えて描き、スタディ模型を作る	
13		模型制作	1	敷地	敷地周辺の条件を理解し、敷地模型をつくる	
			2	建築物の型	スチレンボードに床、壁、屋根等の型を描く	
			3	模型制作	模型を制作する（夏休み中の課題）	
14		即日製図	1	即日製図	敷地図兼 1 階平面図、断面図、南立面図を描く	
			2	図面チェックシート	図面チェックシートでブラッシュアップする	
			3	図面の完成・提出	図面を完成し、提出する	
15		講評会	1	全体鑑賞会	全員の図面と模型を鑑賞し合い、コメントを書く	
			2	グループ別講評会	グループ別でプレゼンと講評会をする	
			3	選抜講評会	選抜者のプレゼンと講評会をする	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等